

一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和 6年 5月 7日

山北町議会議長 石田 照子 殿

受付番号	第3号	質問議員	3番	瀬戸 伸二 
件名	消滅可能性がある自治体をどのように考えるか			
要 旨				
今年4月、民間の有識者などで構成される「人口戦略会議」は、若年女性人口の大幅な減少に伴い、全国の4割以上にあたる744自治体が将来的に「消滅の可能性はある」とする報告書を公表した。 残念ながら、この744自治体には山北町も含まれており、今後「消滅」を回避するためには行政として何をすべきか、どのように向き合っていくべきかが重要であると考え、以下の質問をする。 1. 報告書によると、2020年から2050年に若年女性人口が半数以下となり「消滅可能性自治体」となると示されている。このことについて、当町ではどのようにとらえているのか。 2. 当町においては、高齢化率が40%を超え人口減少を抑制することは難しいと思われるが、若年層の転出の抑制、あるいは転入者の増加について、どのようにすべきと考えているのか。 3. 今後、「消滅可能自治体」対策が好転しなければ、市町村合併が話題となってくると思うが、合併について当町としての考え方は。 以上				